

ご挨拶

京都大学は1897年、科学・技術の社会における役割の急速な拡大に伴い、教育だけでなく研究も大学が担うべきであるという機運の中で、我が国で2番目の帝国大学として創立されました。爾来、京都大学は、自由で創造的研究を尊び、新たな知的価値の創出によって「地球社会の調和ある共存に貢献すること」を基本理念として、アジア諸国の中で最多のノーベル賞やフィールズ賞の受賞者を輩出するなど、我が国を代表する研究型大学として歩んできました。

現在本学は、約5,500名の教職員と23,000名近くの学生を擁しています。教員は、44の学系（専門領域を基礎にした教員組織）に属し、10学部、18大学院研究科、30を超える研究所や教育研究施設という極めて多様な組織で、教育研究活動を展開しています。また、全学生の42%は大学院生であり、その比率は我が国の大学の中でも非常に高いのが特徴です。本学の教育の伝統は、「研究を通して教育する」というモットーに基づく創造的な研究活動の中での実践的教育であり、自らに課題を課し自学自習によりその解決に向け努力することを促すことにより、学生の創造的精神の涵養をはかることにあります。その前提となるのは、確実な科学的知識と幅広い豊かな人間的素養であり、国際高等教育院では、入学した全ての学生に全学共通教育を課し、健全な知的市民としての成長を求めています。

2017年に本学は、指定国立大学法人の指定を受け、①独創的な研究を支える柔軟な研究組織体制の構築、②次世代若手研究者の育成と国際循環の推進、③包括的産学連携の推進と人文社会科学の積極的な発信、④実効的な大学運営と財政基盤の強化、を骨子とする将来構想をまとめました。特に、若手教員の拡充と研究環境の整備および財政基盤の強化は、本学の将来の活力のために重要な課題であり、その具体化のための諸施策を推進しています。

京都大学は、来る2022年に創立125周年を迎えます。これまで本学は、独創性と多様性を尊ぶ学風の下、多くの豊穡な果実を結んできましたが、未来に向けて美しい実を結び続けていくためには、新しい苗木を植え正しく育てていかなければなりません。120年余にわたる京都大学の力強い歩みを確実に未来に繋ぎ、新たな知的価値の創出と豊かな人材の養成によって社会に貢献する大学であり続けるために、全力を尽くしていく所存です。

この「京都大学概要」は、優れた人材を育成するための教育、真理を探究するための研究、多様で多岐にわたる社会貢献、基礎・教養教育や入試改革、並びに国際化や機能強化のための大学改革など、本学が力を入れて推進している現状をわかりやすく紹介しています。また、京都大学ホームページ (<http://www.kyoto-u.ac.jp>) では、大学の最新情報をお届けしています。

本冊子が皆様に京都大学をご理解いただく一助となれば幸いです。

令和2年(2020)年10月

京都大学総長 漆 長博

